

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 35 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 7 年 5 月

長浜商工会議所

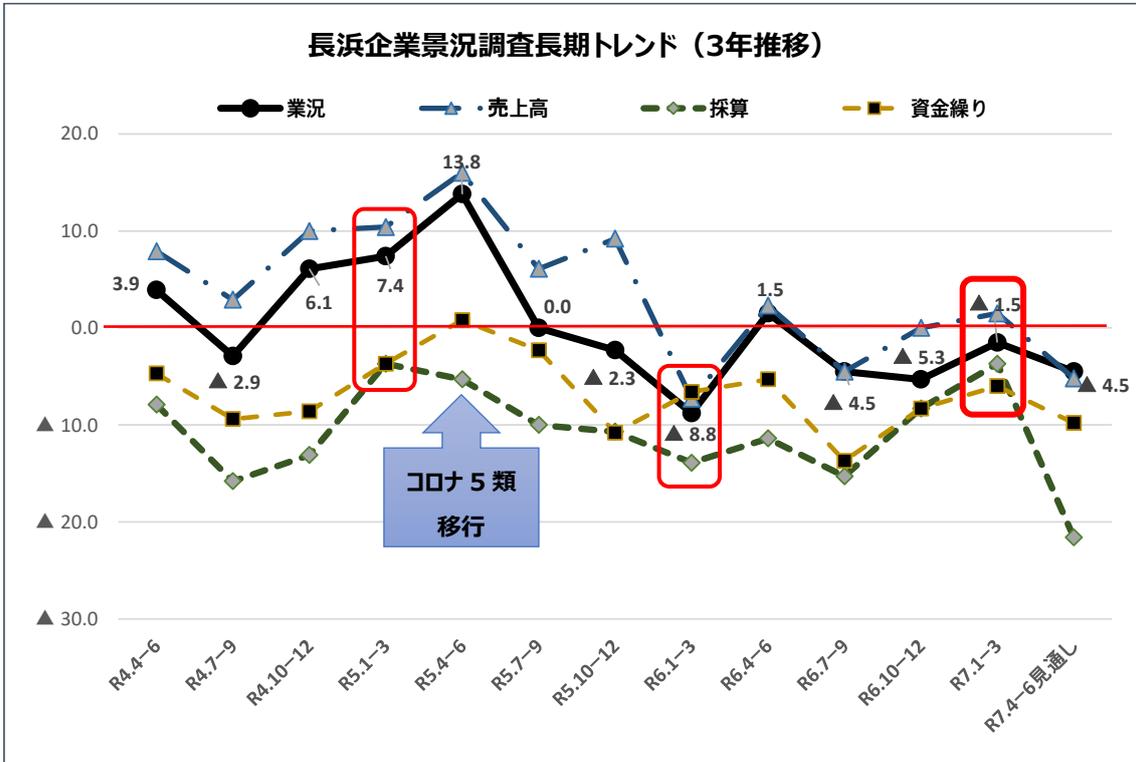
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査：各種D I の長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査：業種別人出不足対策	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	5
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	7
3. 近畿の景況	
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）	8
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	8
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	9
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	11

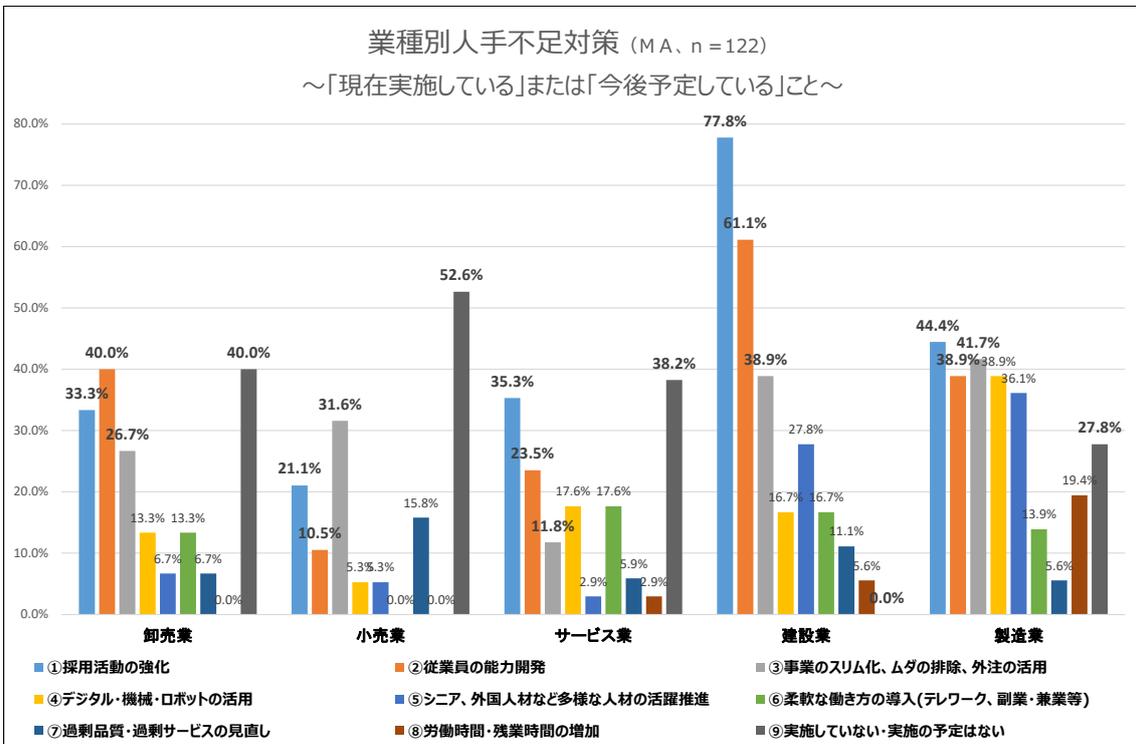
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



(2) 長浜企業景況調査…業種別人手不足対策



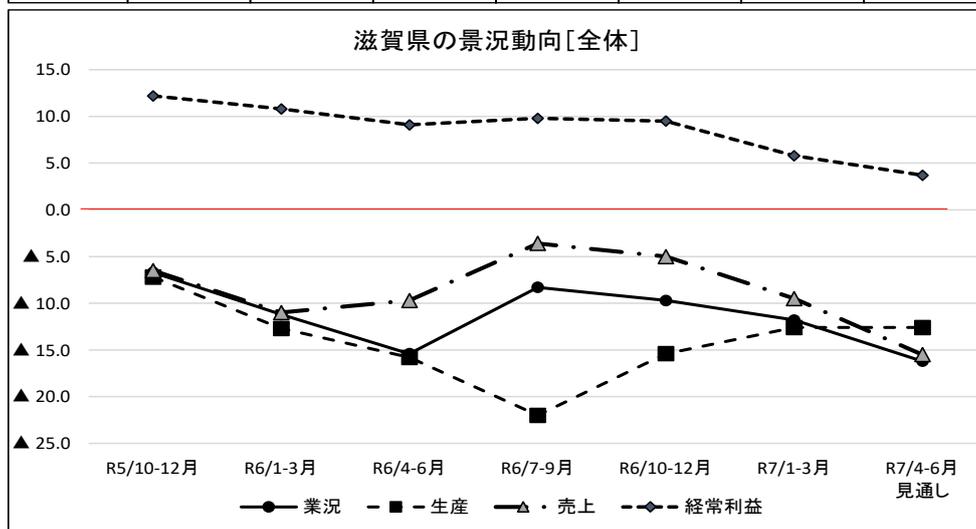
2. 滋賀県の景況

(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

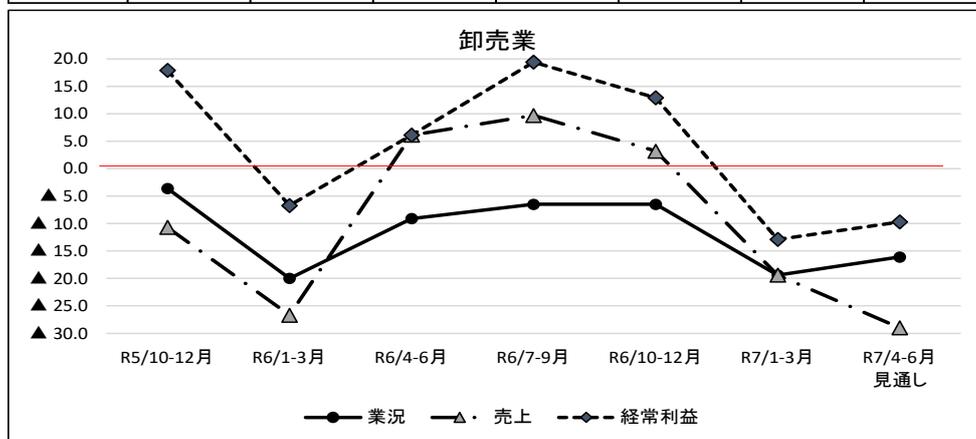
① 滋賀県の業種別景況動向（表中の傾向欄…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。）

（R7/1-3月実績、R7/4-6月見通し）〔前年同期比較〕

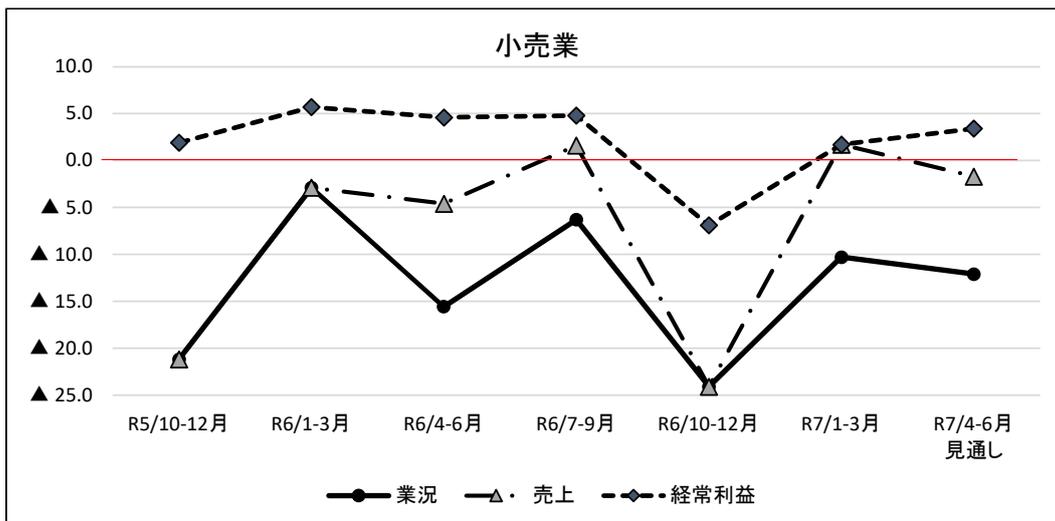
全体	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月 見通し
業況	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 16.2
生産	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 12.6
売上	▲ 6.5	▲ 11.0	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 15.5
経常利益	12.2	10.8	9.1	9.8	9.5	5.8	3.7
雇用の水準	▲ 37.1	▲ 41.1	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 39.4	▲ 37.5	▲ 39.4
傾向	×	×	×	●	×	×	×



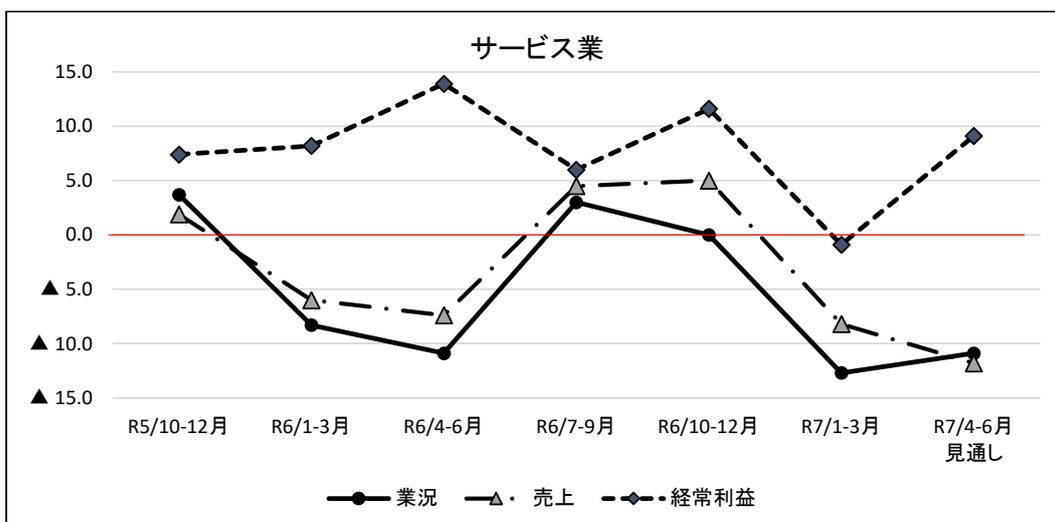
卸売業	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月 見通し
業況	▲ 3.6	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 19.4	▲ 16.1
売上	▲ 10.7	▲ 26.7	6.1	9.7	3.2	▲ 19.4	▲ 29.0
経常利益	17.9	▲ 6.7	6.1	19.4	12.9	▲ 12.9	▲ 9.7
資金繰り	▲ 7.1	▲ 6.9	▲ 18.2	0.0	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 9.7
傾向	●	×	●	●	▲	×	●



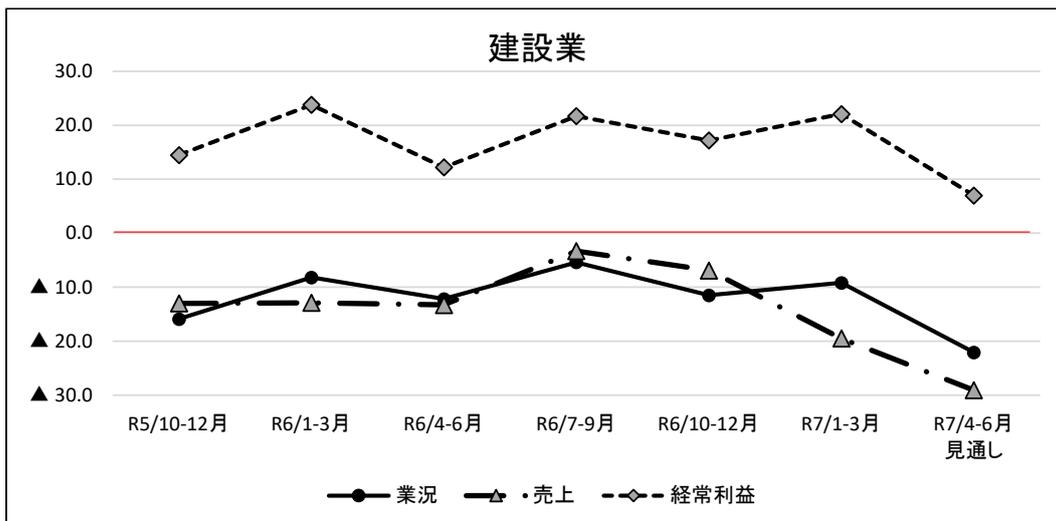
小売業	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月 見通し
業況	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 24.1	▲ 10.3	▲ 12.1
売上	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 4.6	1.6	▲ 24.1	1.7	▲ 1.7
経常利益	1.9	5.7	4.6	4.8	▲ 6.9	1.7	3.4
資金繰り	▲ 11.5	▲ 12.9	▲ 9.2	▲ 15.9	▲ 24.1	▲ 5.3	▲ 7.0
傾向	×	●	×	●	×	●	×



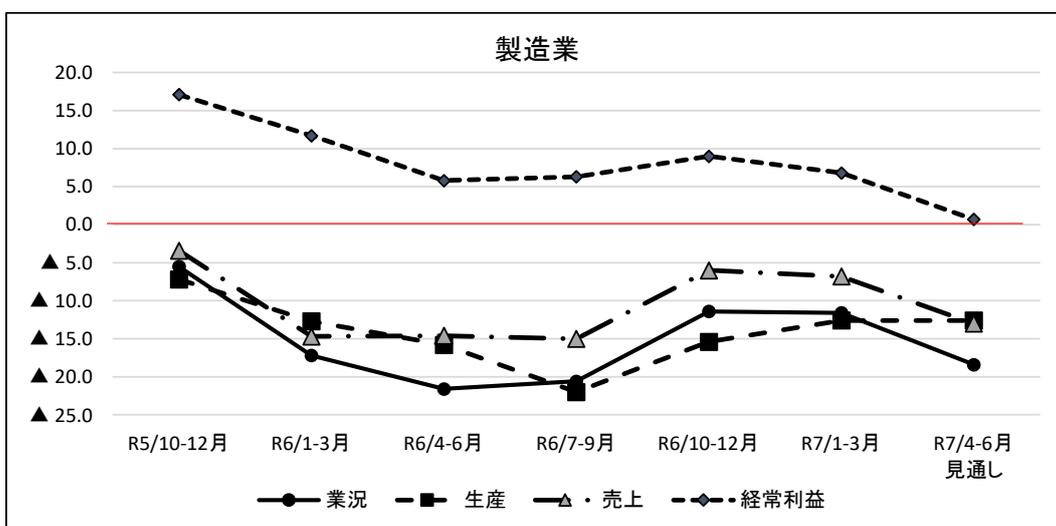
サービス業	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月 見通し
業況	3.7	▲ 8.3	▲ 10.9	3.0	0.0	▲ 12.7	▲ 10.9
売上	1.9	▲ 6.0	▲ 7.4	4.5	5.0	▲ 8.2	▲ 11.8
経常利益	7.4	8.2	13.9	6.0	11.6	▲ 0.9	9.1
資金繰り	▲ 11.1	▲ 16.5	▲ 4.4	0.8	▲ 4.2	▲ 8.2	▲ 7.3
傾向	×	×	×	●	×	×	●



建設業	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月 見通し
業況	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 9.2	▲ 22.1
売上	▲ 13.0	▲ 12.9	▲ 13.3	▲ 3.3	▲ 6.9	▲ 19.5	▲ 29.1
経常利益	14.5	23.8	12.2	21.7	17.2	22.1	7.0
資金繰り	▲ 5.8	1.2	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 13.8	▲ 12.6
傾向	×	●	×	●	×	●	×



製造業	R5/10-12月	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月 見通し
業況	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 18.4
生産	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 12.6
売上	▲ 3.4	▲ 14.7	▲ 14.6	▲ 15.0	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 13.0
経常利益	17.1	11.7	5.8	6.3	9.0	6.8	0.7
資金繰り	▲ 7.6	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 13.6	▲ 9.5
傾向	●	×	×	●	●	×	×



② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

滋賀県内企業のコメント (R7/1-3月期)	
業況判断【好転】企業コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・国スポ・障スポ前イベントや周辺企業の設備投資・増築等の影響で回復予定（サービス業）。 ・選挙、イベント等リス向けの商品の注文が多く入った（製造業）。 ・昨年は車の認証不正問題の影響を受けたが、今期はその影響がほぼ消失した（卸売業）。 ・近隣に会員制ホテルがオープンして来客数が増えている（小売業）。 ・輸入商材の取り扱い部門について、トランプ大統領就任後の為替変動について注視している。販売の物量は確保できているが、円安による仕入コスト増加を危惧している（卸売業）。 ・値上げラッシュにより購入単価が上昇しているが、購入点数は減少している（小売業）。
業況判断【不変】企業コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・労働時間削減のため、稼働時間が減少し、それに伴い売上高も減少予想。人材不足で業務に支障が出てきている（建設業）。 ・米・野菜の価格高騰で、かなり辛い。ガソリンの値上がりもあり、良くなるとは思えない（サービス業）。 ・原材料の値上がりを商品代金に乗せできない（小売業）。 ・工事受注の機会はあるものの、職員・作業員の不足で受注に至らず売上が増額が見込めない（建設業）。
業況判断【悪化】企業コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・受注先の海外販売減少に伴い、受注減少。特に中国向けが良くない（製造業）。 ・医薬品の流通が悪く、患者離れも改善が難しい。人材確保のために過剰な人件費がかかり、経営悪化している（小売業）。 ・ここ数年の資材高騰に市場が反発しており、個人の消費意欲にマイナスの影響が出ている。今後もしばらく続くと予測している（卸売業）。 ・値上げによる売上増加はあるが回復には至らず、今後定期的な値上げは厳しい。決算は良好だが人件費削減によるところも大きく、この先は業績維持が難しい見通し（製造業）。 ・従業員数は足りているが高齢化している。若い人材が確保できない（サービス業）。

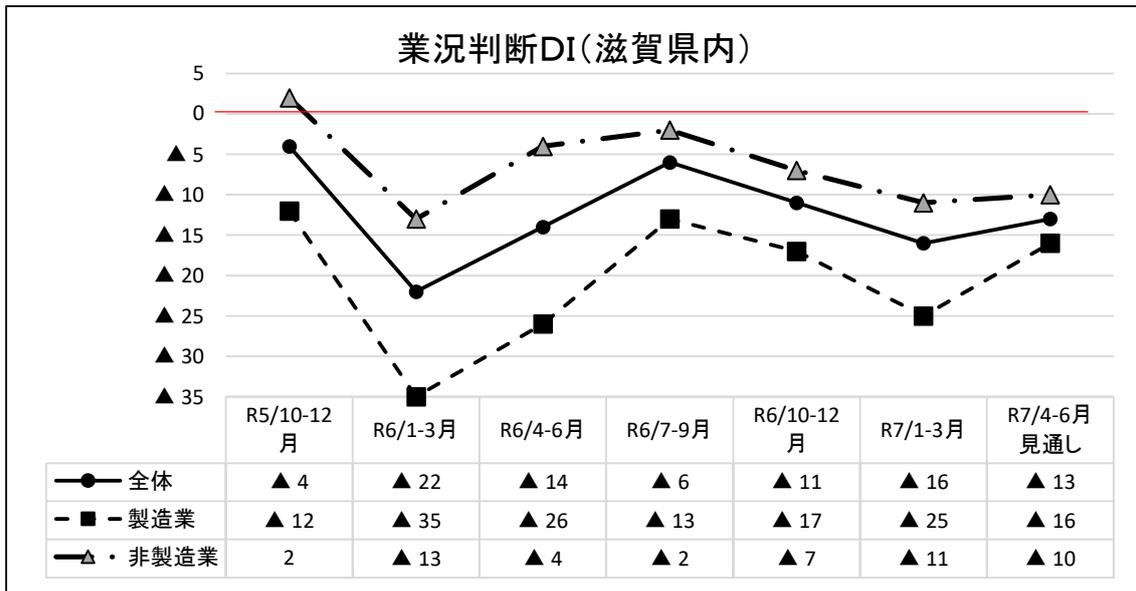
(2) 県内経済概況(株)しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」(令和7年2月ー令和7年4月公表)

R7/1	緩やかに持ち直している	製造業の生産活動は、生産用機械の振れ幅がこのところ大きくなっていること、ウエイトの高い化学が3か月ぶりに低下したため、全体では2か月ぶりの大幅低下となったが、基調としては一進一退の動きが続いている。需要面では、小売業6業態計の売上高が3か月ぶりに増加に転じたが、自動車販売は2か月連続で減少している。投資需要では、住宅投資が2か月連続かつ大幅減少しているものの、民間設備投資が3か月ぶりに大幅増加し、公共投資も4か月ぶりの大幅増加となった。したがって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
R7/2	緩やかに持ち直している	製造業の生産活動は、生産用機械が高水準を維持しつつも前月からは低下したことなどから、全体では2か月連続の低下となったが、基調としては一進一退の動きが続いている。需要面では、小売業6業態計の売上高が2か月連続の増加となったが、実質個人消費はこのところ弱含みで推移している。投資需要では、民間設備投資が2か月ぶりに大幅減少したものの、住宅投資が3か月ぶりに僅かながら増加し、公共投資も2か月連続で大幅増加している。したがって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
R7/3	緩やかに持ち直している	製造業の生産活動は、ウエイトの高い化学などが低下したため3か月連続の低下となったが、生産用機械が極めて高水準を維持しており、全体の生産指数は100の基準を上回っている。需要面では、実質個人消費はこのところ弱含んでいるものの、小売業6業態計の売上高は3か月連続で増加している。投資需要では、民間設備投資と住宅投資、公共投資のいずれも大幅減少している。したがって、県内景気の現状は、投資需要などに弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R7/1-3月実績、R7/4-6月見通し) [前期比較]



景況感は5ポイント低下の▲16で、2四半期連続で悪化

	回答社数	R6/10-12月期	R7/1-3月期	傾向	R7/4-6期見通し
製造業	96	▲ 17	▲ 25	×	▲ 16
繊維	3	0	▲ 33	×	▲ 33
木材・木製品	-	-	-	-	-
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	5	▲ 29	▲ 20	●	▲ 20
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	-	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	11	33	18	×	▲ 10
金属製品	15	▲ 7	▲ 13	×	0
一般機械	10	▲ 14	0	●	0
電気機械	7	▲ 67	▲ 86	×	▲ 29
輸送用機械	4	0	▲ 50	×	▲ 50
精密機械	4	▲ 60	▲ 75	×	▲ 50
その他	24	▲ 25	▲ 21	●	▲ 24
非製造業	144	▲ 7	▲ 11	×	▲ 10
建設	49	▲ 13	▲ 4	●	▲ 12
不動産	12	18	0	×	0
卸売	24	▲ 33	▲ 25	●	▲ 25
小売	20	▲ 13	▲ 15	×	▲ 20
運輸・通信	9	13	11	×	11
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	22	15	▲ 23	×	5
リース	-	-	-	-	-
その他	7	0	14	●	0

③ 県内経済概況「県内景気天気図」[変化方向]

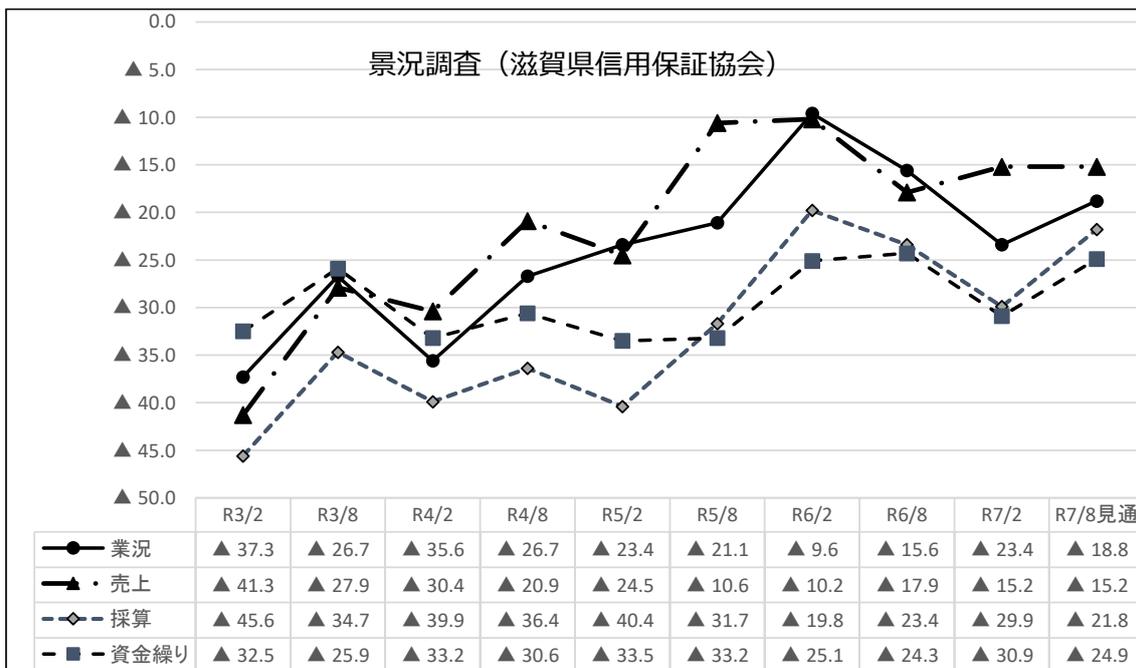
県内景気天気図	R6/9	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2
景気全体	▲	×	×	▲	▲	▲
生産活動	×	×	●	×	×	×
個人消費	●	▲	▲	▲	▲	▲
民間設備投資	●	×	×	●	×	▲
住宅投資	●	●	×	×	▲	×
公共投資	▲	×	×	●	●	×
雇用情勢	▲	▲	▲	▲	▲	▲

* 変化方向…前月比、●は上昇・好転、▲は横ばい、×は下降・悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R7/2)

実施内容	調査時期：令和7年2月		調査方法：無記名アンケート方式			
		配布数： 500	回答数： 197	回答率： 39.4%		
業種構成	建設業	26.9%	サービス業	22.8%	製造業	15.7%
	小売業	13.2%	卸売業	6.6%	不動産業	5.1%
	運輸通信業	2.5%	その他	6.1%	回答なし	1.0%
従業員規模	5人以下： 65.5%	6～20人： 27.4%	21人以上： 6.6%			



3. 近畿の景況

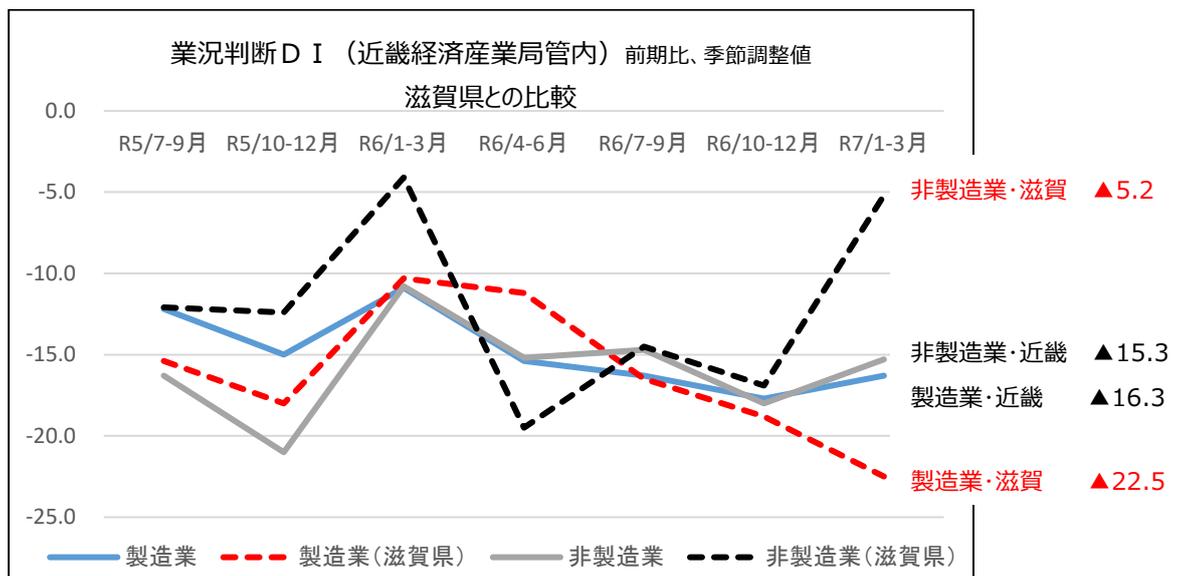
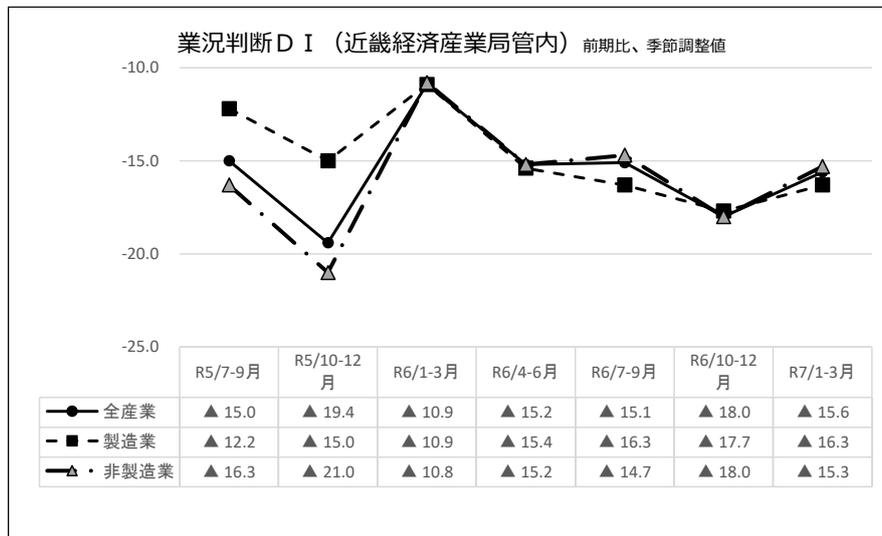
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）（2025年2月指標を中心として）

近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産は、緩やかな持ち直しの動きがみられる。個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに改善している。設備投資は、増加している。住宅投資は、おおむね横ばいとなっている。貿易は、輸出は前年同月を上回った。雇用は、緩やかに持ち直している。先行きについては、物価上昇の影響、人手不足や賃上げの動向、為替の変動、米中をはじめ海外経済の動向を注視していく必要がある。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

① 業種別業況判断DI



4. 全国の景況

(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

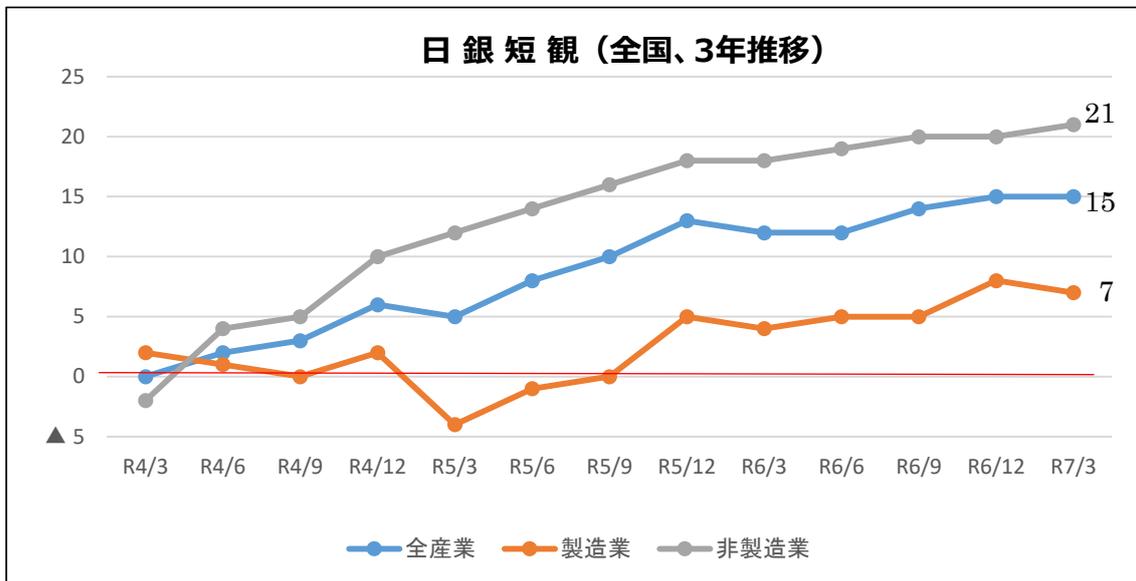
① 大企業の業況判断 DI～製造業は悪化、非製造業は改善

- ・大企業製造業は、前回調査から 2 ポイント悪化の 12 となった。素材業種では、海外景気の減速や米国トランプ大統領による鉄鋼・アルミの関税引き上げ等を受けて繊維や鉄鋼、化学等を中心に大きく悪化した。一方、加工業種では、半導体需要の回復に一服感が見られる中で生産用機械等は悪化した。国内生産が持ち直している自動車等が改善したことから、全体では小幅に改善した。大企業製造業の業況感 は 4 四半期ぶりに悪化したものの、一部に底堅さもみられる。
- ・大企業非製造業は、前回調査から 2 ポイント改善の 35 となった。堅調なインバウンド需要や国内行楽需要に支えられて小売や宿泊・飲食サービス、対個人サービスが改善したほか、企業の堅調な設備投資意欲を受けて物品賃貸や建設も改善した。

② 中小企業の業況判断 DI～製造業は改善、非製造業は横ばい

- ・中小企業の業況判断 DI（最近）は、製造業では前回調査から 1 ポイント改善の 2、非製造業は横ばいの 16 となった。製造業は 3 四半期連続で改善し、非製造業は横ばいではあるものの、歴史的な高水準を維持しており、中小企業の業況感の持ち直しを示す結果となった。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2025年4月1日)より)



③設備投資計画

- ・2024年度の設備投資計画は、大企業製造業では前年比+13.4%、非製造業では同+6.1%と、ともに前回調査から例年通り下方修正されたものの、4年連続で前年比プラスでの着地見込みとなった。
- ・中小企業についても、製造業では前年比+9.0%、非製造業では同+4.2%と、いずれも前年比プラスでの着地見込みとなった。

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2025年4月1日)より)

設備投資計画 (含む土地投資額)		2023年度(実績)		2024年度(計画)					2025年度(計画)	土地投資額		2023年度(実績)		2024年度(計画)					2025年度(計画)
		6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査	3月調査	3月調査	6月調査			3月調査	6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査	3月調査	3月調査
大企業	製造業	11.1	8.5	18.4	18.8	16.0	13.4	4.8	大企業	製造業	2.9	-29.3	-25.7	-28.0	-30.6	-10.6	5.5		
	非製造業	10.4	1.5	7.0	6.0	8.7	6.1	2.1		非製造業	13.6	-11.5	-18.7	-13.6	-4.2	-7.7	-4.5		
中堅企業	製造業	9.0	10.8	17.1	15.3	16.0	8.3	11.1	中堅企業	製造業	-4.4	-48.0	-40.8	-24.6	-3.0	9.4	-61.0		
	非製造業	13.1	5.7	3.7	5.8	6.3	8.6	-6.8		非製造業	11.1	-6.1	-7.5	10.5	25.4	20.9	-34.5		
中小企業	製造業	-9.1	3.6	13.0	12.2	10.5	9.0	0.2	中小企業	製造業	-43.2	5.4	-26.6	-31.8	-29.3	-13.2	-24.3		
	非製造業	20.8	-6.9	-7.2	-1.8	1.0	4.2	-15.0		非製造業	2.2	-53.6	-43.3	-15.9	-5.2	7.7	-50.2		

*除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

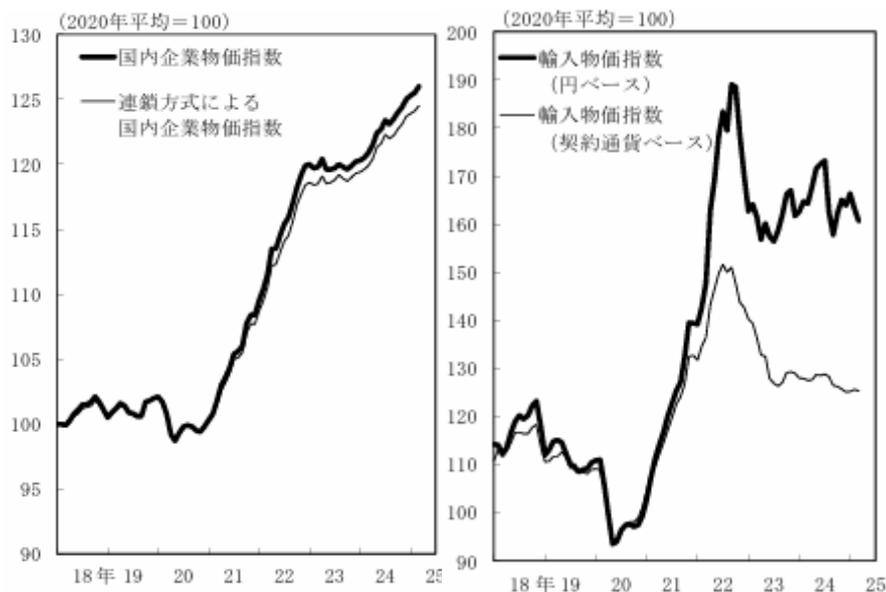
ソフトウェア投資額		2023年度(実績)		2024年度(計画)					2025年度(計画)	研究開発投資額		2023年度(実績)		2024年度(計画)					2025年度(計画)
		6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査	3月調査	3月調査	6月調査			3月調査	6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査	3月調査	3月調査
大企業	製造業	11.0	6.6	19.1	21.3	20.9	14.2	1.4	大企業	製造業	4.4	0.3	6.1	5.9	6.6	6.8	1.6		
	非製造業	7.5	6.5	14.3	11.1	10.0	8.7	2.4		非製造業	8.4	2.8	7.1	8.1	7.8	7.1	2.8		
中堅企業	製造業	14.6	7.5	12.5	16.1	16.5	6.0	17.3	中堅企業	製造業	2.3	4.4	6.4	7.0	4.1	4.9	2.9		
	非製造業	8.7	8.1	6.3	4.8	0.3	-3.5	5.4		非製造業	61.8	12.1	22.9	16.0	20.6	10.1	6.3		
中小企業	製造業	8.9	11.4	25.3	36.4	37.1	20.4	24.9	中小企業	製造業	2.0	-3.2	0.5	-0.5	1.9	1.9	-0.2		
	非製造業	24.5	2.1	6.0	4.2	6.3	-6.7	10.7		非製造業	9.1	5.6	8.6	5.7	4.5	11.9	9.4		

③ 企業物価指数および企業向けサービス価格指数 (2025年3月速報)

国内企業物価指数は126.0、前年比4.2%で、7カ月連続で過去最高を更新、前年比4%以上は4か月連続した。コメや鶏卵の価格上昇、アメリカの関税措置発動前のかげこみ需要で銅線の価格値上がりなどが要因。

輸入物価指数(円ベース)は160.7で、原油価格の下落などから前年比2.2%低下した。

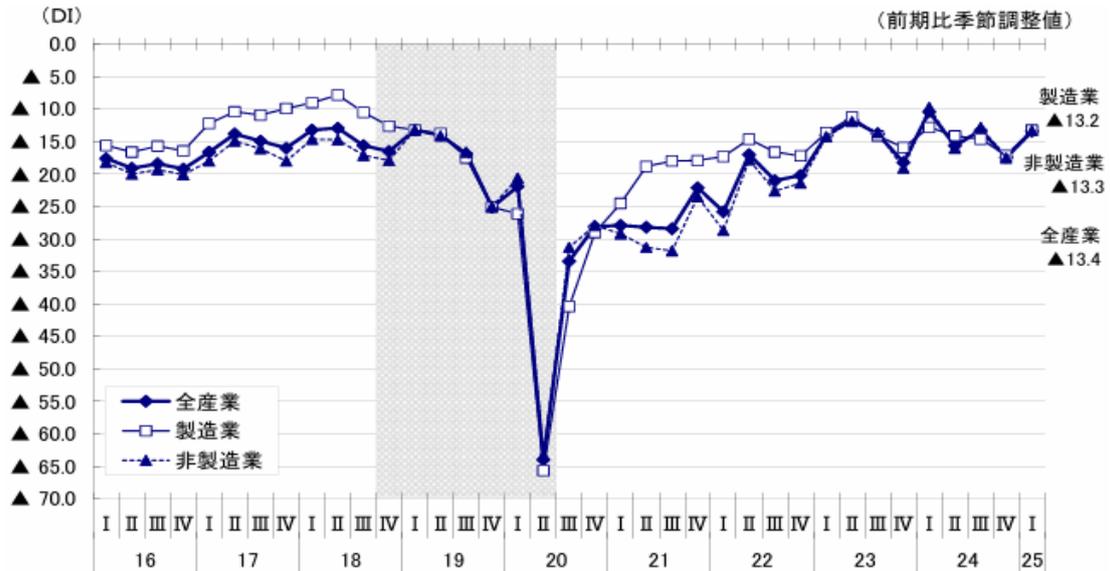
企業向けサービス価格指数は109.7、前年比3.1%で、49カ月連続プラス、前年比3%以上は6カ月連続。訪日客の増加を背景とした「宿泊サービス」(11.0%)の上昇が目立った。



(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

①業種別業況判断 DI

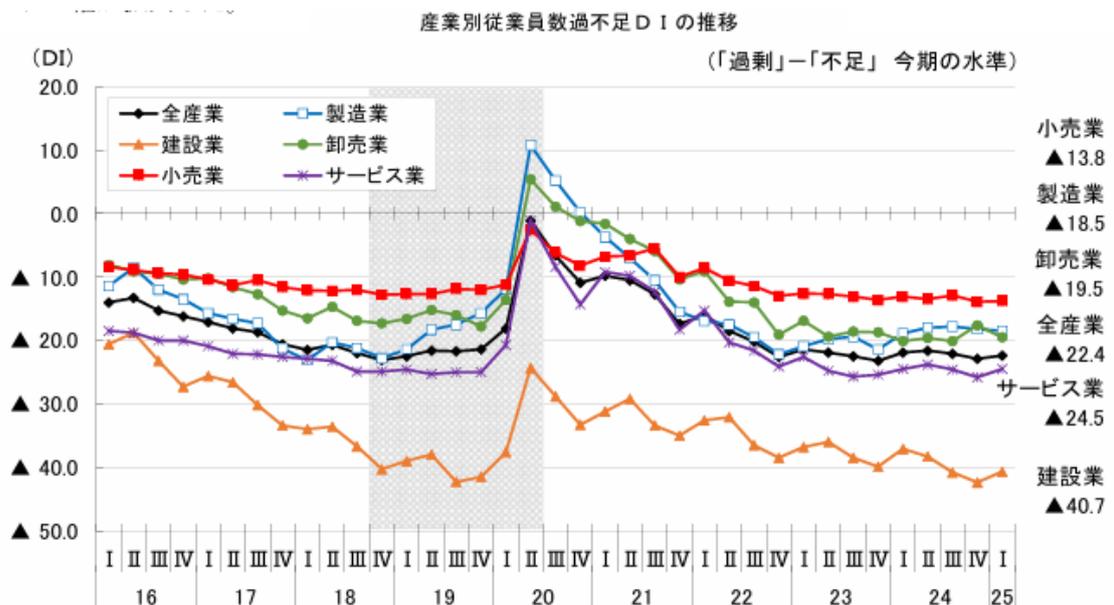
全産業の業況判断DIは▲13.4 (前期差 4.0 増) となり、2期ぶりにマイナス幅が縮小した。製造業は▲13.2 (同 3.9 増) と4期ぶりにマイナス幅が縮小、非製造業は▲13.3 (同 4.2 増) と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。



(注) 網掛け部分は景気後退期

②トピックス：産業別従業員数過不足DI

全産業の従業員数過不足DI (「過剰」-「不足」、今期の水準) は、▲22.4 (前期差 0.5 増) とやや上昇し、3期ぶりにマイナス幅が縮小し不足感が弱まった。産業別に見ると、建設業、サービス業、小売業でマイナス幅が縮小し、卸売業、製造業でマイナス幅が拡大した。



(中小企業診断士 川副 郷一郎)